



杉並区立沓掛小学校運営協議会だより

杉並区立沓掛小学校運営協議会会长 近藤真司

令和4年度第5回沓掛小学校運営協議会報告(令和4年9月13日)

◆会長挨拶

本日、沓掛小に来ましたら門構えが変わっていました。学校が始まり、土曜日は道徳公開講座が実施されたようです。昨日は、朝礼で昔のことを話させていただきましたが、5~10分の短い時間で話すことの難しさを感じました。本日も色々な議題があるようですので宜しくお願ひ致します。

◆校長挨拶

ご多用の所、ご参集いただきまして有難うございます。正門の改修工事が完了致しました。警備員の配置は登下校時のみとなります。9/10に道徳公開講座と沓掛ドリーム「お仕事見本市」を実施致しました。9/12には、創立69周年企画として近藤会長より講話をいただきました。古い時代の校舎の話が生徒達には印象的だったようです。この後も三人の方からお話を伺う予定です。本日、天沼中と中瀬中で中学校体験を致しました。天沼中は授業体験、中瀬中は授業見学と部活のビデオ鑑賞をしてきました。今後の予定は、5日は開校記念日、8日は体育学習発表会となっております。全国学力・学習調査の結果がもどってきました。本校の国・算・理の正答率は、いずれも全国平均、都平均を上回っていました。

◆報告事項

(1)周年行事委員会では、子供を主役として、式典でも生徒全員が参加できる形を考えて行きたいと思っています
(2)夏休みの校長面談について

休み中、CS委員の方に学校に来ていただきてお話を聞かせていただきました。学校運営や教職員、児童のこと70周年に向けて等沢山のアドバイスをいただきまして有難うございました。これからも年に1回位このような機会を設けていきたいと思っております。

(3)道徳地区公開講座参観報告(参観委員より)

- ・全学年参観しましたが、先生方が良く勉強されていて、熱意を感じました。子供達も落ち着いて集中した学習態度でした。ただ、今は対話的主体的深い学びが言われている中なので、話し合いの場面では、もっと子供達に任せても良いかと思いました。また、低学年に「道徳」を「教える」難しさも感じました。
- ・先生方が年齢に応じて様々な工夫をこらして授業をされていました。子供達もそれに応じて一生懸命に取り組んでいました。学年が上がるにつれて成長している事を実感しました。1年生は身近な事からの質問に、全員が手を上げ元気に答えていました。3年生になると少し難しい「正直と誠実」というテーマです。誠実とは何か?説明するのは難しいようでした。6年生は「自由と自分勝手」についてきちんと自分の意見を発表していました。特に感心したのは教科書の本文と教科書の設問にずれがあるのですが、このずれを指摘しながら意見を述べた子がいたことです。4年生だけがクラス毎に異なるテーマの授業でした、そのねらいについての説明があるとよかったです。
- ・6年生3年生どちらの授業も先生方が一生懸命考えられていました。昔と違い、テーマに沿って子供達が考える場をきちんと設けてあったり、最終的に発表したり他の人の意見を聞く機会が設けられていました。また意見を言える子がいる一方苦手な子がいますので、上手く引き出せるような工夫が必要だと感じました。
- ・子供達はきちんと授業を受けていました。他の人の意見を否定しないという雰囲気があるのが良いと思いました。他人の意見を受け入れる子供たちに育っていると思いました。
- ・後のドアが外してある教室と外してない教室がありましたが、外された方が良いと思いました。

(注:道徳以外の授業の都合や作品展の展示の関係で外せなかった教室もありました)